

科目名 (英)	レストランサービス演習	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生 亮
	Restaurant service exercises	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	木曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
※実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 レストランの管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎を知識を身に付ける。(概要)レストランにおける収益管理から、店舗設計・サービスに至るまでの運営をする手法を学ぶ。原価率・回転率・原材料費率・人件費率などの管理能力の基礎をより詳しく実践的にロールプレイングなどを行いながら学ぶ。							

授業計画・内容	
第1回	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
第2回	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
第3回	西洋料理に使用される主な食材(前菜・スープ・魚・甲類・貝類)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第4回	西洋料理に使用される主な食材(家畜・家禽・野菜)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第5回	西洋料理に使用される主な食材(パスタ・チーズ・デザート)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第6回	課題の抽出・中間試験対策
第7回	中間試験(筆記)
第8回	一般的な西洋料理調理方法(魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第9回	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
第10回	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
第11回	西洋料理の食食用具・備品(銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称)を学び説明出来るようになる
第12回	課題の抽出・試験対策
第13回	試験対策
第14回	評価週
第15回	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストランサービス演習 Restaurant service exercises	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
※実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 ・場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る ・授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る ・行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る							

授業計画・内容	
第1回	食材・飲料等の基礎知識 メニューの歴史を学び理解する事ができる
第2回	食材・飲料等の基礎知識 西洋料理の食食用具・備品を学び理解する事ができる
第3回	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる
第4回	宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる
第5回	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
第6回	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
第7回	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
第8回	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
第9回	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
第10回	レストランサービスの内容(食事の国際習慣・プロトコルの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装)を学び理解する事ができる
第11回	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る
第12回	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
第13回	試験対策
第14回	期末試験
第15回	期末試験振り返り、及び苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
※実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 レストランの管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎を知識を身に付ける。(概要)レストランにおける収益管理から、店舗設計・サービスに至るまでの運営をする手法を学ぶ。原価率・回転率・原材料費率・人件費率などの管理能力の基礎をより詳しく実践的にロールプレイングなどを行いながら学ぶ。							

授業計画・内容	
第1回	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
第2回	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
第3回	西洋料理に使用される主な食材(前菜・スープ・魚・甲類・貝類)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第4回	西洋料理に使用される主な食材(家畜・家禽・野菜)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第5回	西洋料理に使用される主な食材(パスタ・チーズ・デザート)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第6回	課題の抽出・中間試験対策
第7回	中間試験(筆記)
第8回	一般的な西洋料理調理方法(魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第9回	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
第10回	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
第11回	西洋料理の食食用具・備品(銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称)を学び説明出来るようになる
第12回	課題の抽出・試験対策
第13回	試験対策
第14回	評価週
第15回	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	Restaurant service skill test	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。 ※実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 ・場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る ・授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る ・行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る							

授業計画・内容	
第1回	ソムリエ協会推奨 ワイン振栓の方法を学ぶ事が出来る
第2回	オレンジカッタイングの方法を学ぶ事が出来る
第3回	レモンスライス・カットが出来る様になる
第4回	スパイラルレモンの方法を学ぶ事が出来る
第5回	場面に応じたオーダーテイクのテクニックを学ぶ事が出来る
第6回	気がついて、減っていても注いではいけない水のサービス(グループワーク)を考える事が出来る
第7回	中間試験
第8回	グラスの磨き方を学ぶ事が出来る
第9回	テーブルナフキンの折り方を学ぶ事が出来る
第10回	箸置きを折り方を学ぶ事が出来る
第11回	レモンスライス・カットの応用ができるようになる
第12回	テーブルクロス(リネン全般)の使用方法を学ぶ事が出来る
第13回	試験対策
第14回	期末試験
第15回	期末試験振り返り、及び苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	卒業制作	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	田中 香利
	Graduation exivision	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 月曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】ブライダル業界の現場で実際に使用されている【打合せシステム】を使用し、実践型の学習をします。就職後の即戦力となるスキルを身につけることができます。 【実務経験】株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】 ■ブライダルシステムを使用し、席次表を作成が出来るようになる ライダルアイテムの販売構成・原価・利益などの数字を分析する力を身につけることができる							

授業計画・内容		
1回目	ギフトプランナー 招待客リスト～引出物セレクト～席次表作成までの一連の流れをシステムを使用して理解・把握・作成することができる	
2回目	ブライダルフェア企画:集客目標を設定し、ブライダルフェアのイベント企画・スケジュールリング力を身につけることができる	
3回目	ブライダルフェアPOP作成 集客用のPOPを作成する力を身につけることができる	
4回目	ブライダル見積書作成① ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
5回目	ブライダル見積書作成② ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
6回目	ブライダル見積書作成③ ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
7回目	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成①少人数フォト婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
8回目	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成②大人数婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
9回目	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成③リゾート婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
10回目	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る①	
11回目	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る②	
12回目	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る②	
13回目	テスト対策 まとめ	
14回目	★評価週	PC/ システムを使用したテスト
15回目	★まとめ 振り返り	期末テスト 振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	PC／システムを使用	
受講生への メッセージ	学生時代に学べることは貪欲に学び、就職後の即戦力となるような授業内容ですすめていきます。業界必須のスキルを身につけていきましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		
PC／ブライダルシステムBbann		

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
	campus marriage	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルシステムの授業で学んだ知識をもとに、アウトプットがメインの内容で進めてまいります。 接客業に最も必要とされる、コミュニケーション力、トーク力を見つげるために、ロールプレイング(結婚式の打ち合わせの流れや)を行うことで、人前で話すことの恥ずかしさを払拭し、お客様の前で堂々とトークができるようになることを身につけていただきます。 また、時代に沿った接客スタイル(リモート接客)を実際に行うことで、難しさを体感しました、プレゼン力も身につけることができる内容で進めてまいります。 ※実務経験 法人営業やホテル・ブライダル業界10年以上キャリア。現在はウェディングプランナー育成に携わっている。							
【到達目標】 恐怖感・不安感を持たず、人前で話すことができる 打ち合わせ時にお客様へのヒアリングとご提案ができる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:授業内容の説明、自己紹介(自分自身を商品に例えプレゼンを行う)を行うことでプレゼン力を身につけることができる	
2回目	1年次で学んだ結婚式の打ち合わせの流れを提示、説明ができる	
3回目	ヒアリングのポイント・コミュニケーションのポイントを身につけることができる	
4回目	クローজिंगのポイント・課題分析のポイント・打ち合わせのスケジューリング(タイムスケジュール作成)のポイントを身につけることができる	
5回目	求められる5つの基本能力(①プレゼンテーション能力②ヒアリング能力)のポイントを身につけることができる	
6回目	求められる5つの基本能力(③コーディネート力④営業力⑤問題解決能力)のポイントを身につけることができる	
7回目	中間テスト	
8回目	①リモート接客方法のポイントを身につけることができる(PCを使用する)	
9回目	②リモート接客方法のポイントを身につけることができる(PCを使用する)	
10回目	①新規接客(ヒアリングの大切さ)を身につけることができる	
11回目	②新規接客(ヒアリングの大切さ)を身につけることができる	
12回目	作成したコラージュをもとに提案力を身につけることができる	
13回目	不安や悩み対策としてのトーク力を鍛えることができる	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テストのフィードバック
準備学習 時間外学習		
評価方法	ロールプレイング方式90% 授業に対する意欲10%(発表回数など)	
受講生への メッセージ	接客業に最も必要とされる、コミュニケーション力、トーク力を身につけていきます。 お客様の前で話す事への不安な気持ちを払拭し、質の高い接客力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルプロフェッショナル Bridal professionau	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	90 6	開講区分	前期・後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 昨今需要が増えているフォトウェディングについて、新しいフォトプランを考案し、スタジオネスト様に提案。 商品化を目指す。 あ・うん企画様のご協力のもと、新型コロナウイルスの影響で、婚礼を余儀なくされている新郎新婦様に向けて、フォトウェディング(前撮り)を提案する。 学生とフォトウェディングをすることのメリットをお2人にプレゼンテーションし、自らの力でお客様との契約を目指す。							
【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたフォトプランを企画立案し、提案すること。 フォトウェディングのお客様の成約と当日まで企画・運営。							

授業計画・内容	
1回目	本プロジェクトの経緯と目的が理解できる / 対象お客様のご紹介
2回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる① / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる
3回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる② / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる
4回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる③ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる
5回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる④ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる
6回目	(予定) (6回目) 1組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく
7回目	(予定) (7回目) 2組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく
8回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
9回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
10回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
11回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
12回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
13回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
14回目	★評価週 ※フォト撮影は9～10月頃でしょうか。
15回目	★まとめ・追試/再試 後期は経験を踏まえて、スタジオネスト様と商品化へ向けての企業プロジェクトとする
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポート
受講生への メッセージ	お客様のご都合に合わせて、打合せを組んでいきます。 お客様にもお仕事や普段の大切な生活があります。 打合せが土日に入る場合もありますので、クラスメイトと協力しながらお客様の記憶と記録に残る1日を作りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	企業プロジェクト corporate collaboration project	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	90 6	開講区分 曜日・時限	前・後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。 実施授業：プライダル業界のIT活用の現状と未来について学び、これから実用化をするwebサービスの企画を立案し提案する。・昨年度の同授業で先輩が企画したものをベースにさらに精度を高めた提案をすること。							
【到達目標】 プライダル業界での実用化を目的としたwebサービスの企画立案し、提案すること。							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒他己紹介、本プロジェクトの経緯と目的の共有
2回目	株式会社サウスポイント様よりIT業界とプライダル業界の現状についての説明 業界の現状について説明することができる。
3回目	本プロジェクトの目標設定 この授業の最終目標について説明することができる。
4回目	事実の抽出と抽象化と転用について 業界サービスについて分析することができる。
5回目	班分けと班の目標設定 各班でのこの授業の最終目標について説明することができる。
6回目	プレゼンについて プレゼンの本質について説明することができる。
7回目	プレゼンについて プレゼンの有効な構成や手順について説明することができる。
8回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
9回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
10回目	株式会社サウスポイント様へ中間プレゼンテーション
11回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
12回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
13回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
14回目	★評価週 株式会社サウスポイント様へ最終プレゼンテーション
15回目	★まとめ・追試/再試 講評
準備学習 時間外学習	
評価方法	プレゼンテーション
受講生への メッセージ	世相により、今は社会で活躍するにあたってIT知識は欠かせないものとなっています。またその時々に応じ、提案して行動することが求められます。この授業ではITの基礎的な知識を学ぶことができ、また企画提案力を身に付けることができます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	テクノロジー演習 Technology exercise	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期・後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
映像制作技術を有する教員が、プライダルアイテムのひとつである映像実習授業を展開し、どういった映像を制作するのか、立案から完成までのプロセスを身に付けます。							
※実務経験 フリーとして映像制作に従事して20年以上。(プライダル・広告)							
【到達目標】							
映像を制作するスキル、ソフトの使い方等を必要最低限身に付け、スケジュールの組み立て、クオリティの確保を経験し、映像制作ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション/映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる①(写真を使った簡単な操作方法)	
2回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる②(写真を使った簡単な操作方法)	
3回目	映像制作ソフト（プレミア）の機能理解・操作方法について理解できる③(テロップを用いて簡単な操作方法)	
4回目	映像制作ソフト（プレミア）の機能理解・操作方法について理解できる④(動画を使った簡単な操作方法)	
5回目	映像制作ソフト（プレミア）の機能理解・操作方法について理解できる⑤(動画をを使った簡単な操作方法)	
6回目	映像制作ソフト（プレミア）の機能理解・操作方法について理解できる⑥(動画をを使った簡単な操作方法・それぞれの作った映像を	
7回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る①	
8回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る②	
9回目	素材撮影・映像制作が出来る①	
10回目	素材撮影・映像制作が出来る②	
11回目	素材撮影・映像制作が出来る③	
12回目	素材撮影・映像制作が出来る④	
13回目	素材撮影・映像制作が出来る⑤	
14回目	★評価週	完成映像の提出
15回目		総評・まとめ
準備学習 時間外学 習		
評価方法	テスト(映像提出による完成度)にて評価	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
PC数台・PCソフト(Adobe premiere pro)		

科目名 (英)	韓国語Ⅰ・Ⅱ Korean Language	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	金 有里
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期・後期 月曜3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
2017年からラジオ局LOVE FMにてK-POP番組を担当し、アーティストとのインタビューや簡単な通訳などから韓国語の幅を広げた。講師としては2020年秋ごろよりスタート。その後企業様などの団体から個人的レッスンまで得意なK-POPソング、ドラマのセリフなどを使い、ユニークなレッスンをモットーに韓国語講師として活動中。							
【到達目標】 ハングルを読めるようになる、自己紹介が出来る、簡単な会話が出来る。							

授業計画・内容		
第1回	韓国語の仕組みと母音の勉強1	
第2回	子音の勉強 1	
第3回	子音の勉強2	
第4回	母音の勉強2、パッチム	
第5回	ここまでのまとめ復習とK-pop ソング、数字の勉強	
第6回	漢数字を使った会話、体の部位	
第7回	数え数字の勉強	
第8回	曜日、月、年、時間など	
第9回	簡単な疑問形、動詞、形容詞を会話で学ぶ その1	
第10回	簡単な疑問形、動詞、形容詞を会話で学ぶ その2	
第11回	今までの総まとめのテストとk-popソング	
第12回	韓国語の航空アナウンスしてみよう	
第13回	自己紹介と自身の言いたい事をまとめて韓国語でいう練習 その1	
第14回	★評価週	自己紹介と自身の言いたい事をまとめて韓国語でいう練習 その2
第15回	★まとめ・追試/再試	発表と最後にK-popソング
準備学習 時間外学習		
評価方法	テストと参加態度	
受講生へのメッセージ	韓国語は日本語と文法が同じで発音がほぼ同じものもあるくらいスツと入ってきやすかったり、激むずだったり面白い外国語です！！口をよく動かします。発音だけ最初慣れるまで練習が必要ですので口の体操よくしといてください！！授業が進むと複雑になって混乱するときは、その都度細かい事でも必ず質問してもらって、クリアにしてから次のステップに行きましょう！！とにかく肩の力を抜いてリラックスして楽しく授業していきましょう！！	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ネイル検定	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	坂本 結佳子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期・後期 木曜2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) サロンワークやブライダルネイル、新人研修などの経験があるネイリストが15回の授業を通して基礎的なネイルケア、ポリッシュやジェルネイルの扱い方を学ぶ。ブライダルプランナーとしてのネイルデザインのカウンセリングの為の知識を得る事ができる。ブライダルネイルにも使えるデザインのチップを作成し、撮影、コラージュ作成をする。 ※実務経験 5年間にわたり株式会社BRONZE EYEにてネイリストとして勤務。その中でブライダルネイルの施術にも携わる。 その他新人研修にも携わり基礎知識や接客、カウンセリングなどを指導。現在は自宅ネイルサロンを開業。(現在5年目)							
【到達目標】 ・ネイルケアの基礎的な知識と技術を習得する ・ブライダルネイルのデザインを学ぶ							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介、爪の名称、ブライダルネイルについて、商材説明、シラバス説明	
2回目	ネイルケアからポリッシュオフの仕方説明、自分の爪に実践	
3回目	ネイルケアからポリッシュオフまで相モデルに実践	
4回目	ネイルケアからポリッシュオフまで相モデルに実践	
5回目	ネイルチップデザイン決め、ジェルネイル説明	
6回目	ネイルチップ作成	
7回目	ネイルチップ作成	
8回目	ネイルチップ作成	
9回目	ネイルチップ作成	
10回目	ネイルチップ作成	
11回目	ネイルチップ作成	
12回目	自分が作ったネイルチップとブライダルコラージュ作成	
13回目	自分が作ったネイルチップとブライダルコラージュ作成	
14回目	★評価週・コラージュ作成予備	
15回目	★まとめ・コラージュ作成予備	
準備学習 時間外学習	授業で学んだことは授業外でも実践してみましょう。 苦手なことができたならそのままにせずメモなどをして次の授業で消化できるようにしておくことが望ましいです。 最後にブライダルネイルチップ撮影をします。それまでにドレス、ブーケ、ネイル、背景などを考えておいてください。	
評価方法	ネイルチップ制作、コラージュ作成 授業出席率、授業態度	
受講生へのメッセージ	ジェルネイルチップを作成する授業です。 将来ブライダルに関わるお仕事をする際にブライダルネイルデザインのご提案の仕方やカウンセリング力を身につけて新郎新婦様のお役に立つことができます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・コットン・キッチンペーパー・エメリーボード×人数・ウッドスティック×人数・ブルークロス×1・ポリッシュリムーバー×1L1個 ・ポリッシュボトル×人数・からディスペンサー×人数・ポリッシュトップ×人数・ポリッシュベース×人数・ジェル筆×人数 イト×人数・ネイルチップクリア×人数・ネイルチップを作るための材料		
・か ・ジェルラ		

科目名 (英)	ブライダルコーディネーター検定2級 Bridal coordinate Grade2	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前・後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界での基礎を基本にロールプレイング力が身に付くような授業を行う							
※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在には育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
株							
【到達目標】							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターエキスパート教本を基本に知識及び実技のロールプレイングができるようになる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 授業内容の説明、評価方法の説明とコーディネーター業務の定義(P16.P17)	
2回目	ロールプレイングの意味と必要性が理解できる	
3回目	新郎新婦の新規接客のDVD鑑賞後に分析ができる(A.Bパターン)	
4回目	クロージングと成約(P20)のポイントが理解できる	
5回目	ブライダルにおけるヒアリング(顧客の動機を知る・ヒアリングの基本テクニックを知る) (P34.P35)	
6回目	新規ヒアリングの基本が理解できる(資料請求・来館時のヒアリング) (P38～P41)	
7回目	新規ヒアリングのロールプレイングの実技ができる、アンケート記入の依頼ができる(P42～P45)	
8回目	中間テスト 新規ヒアリングのロールプレイングができる、内覧時のヒアリングができる	
9回目	クロージング時単価アップ(売上アップ)のロールプレイング実技ができる	
10回目	成約後ヒアリング、プランニングに必要なヒアリングの理解ができる (P50～P52)	
11回目	A新規プランニングを個々にて提案し、その流れをロールプレイングしできるようになる	
12回目	B新規プランニングを個々にて提案し、その流れをロールプレイングしできるようになる	
13回目	C新規プランニングを個々にて提案し、その流れをロールプレイングしできるようになる	
14回目	★評価週	期末テスト(新規接客～クロージング)実技
15回目	★まとめ・追試/再試	前期の振り返り、自身のスキルアップをレポートにする
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	実技 中間テスト 50% (ロープレ) 期末テスト 50%	
受講生へのメッセージ	スーパーブライダルとして3年目です。コミュニケーション力を高め、実力を発揮し自分自身の目標を定め進んでください	
【使用教科書・教材・参考書】		
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(エキスパート)を参考とします		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー講座 business manner	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	吉良牧子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 曜日・時限 金曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテルコンシェルジュやブライダルプランナーの新規接客経験を持つ教員が、社会・業界に必要なビジネスマナーをトレーニングをする講義を展開します							
【到達目標】 社会人として必要なビジネスマナーを身に付け、実践できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 自己紹介の本当の目的を知り活用できる
2回目	挨拶 挨拶の由来と必要性と世界の挨拶を知り、挨拶で印象を変えることができる
3回目	話し方、聞き方 声の出し方で印象を良くすることができる
4回目	発声 滑舌チェック、早口言葉のレッスンで日頃の癖を知り改善できる
5回目	社会人と学生の違いについて考え、口頭伝達できる
6回目	名刺交換 自分にキャッチコピーを付け、スムーズな動作で名刺交換ができるようになる
7回目	電話対応のマナーを学び、対応ができるようになる
8回目	冠婚葬祭のマナーを学び、身に付ける
9回目	心のこもったお礼状を書くことができる
10回目	第一印象と敬語 カウンセリングをしながら正しい敬語を使用することができる
11回目	クレーム対応について考え、対応方法を習得する
12回目	感動のサービスについて学び、顧客対応に活かすことができる
13回目	社会に出る前に身だしなみは整っていますか？チェックシートで確認し、おしゃれと身だしなみの違いを知り、活かすことができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	テスト
受講生への メッセージ	ビジネスマナーを学ぶ機会はいまだかつてないのに、マスターに及ばなかった理由を追求し、自分で知って考えて行動することをビジネスマナーに当てはめながら伝えていきます。難しいものではなく、思いやりであることを知って欲しいです。
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	ヘアメイク演習 Hairmake Practice	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 月曜1限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルヘアメイクの仕事を理解し、感性・創造力を高めていく実習を行う。前期で学んだメイクの基礎を活かした応用となるため、顔分析に基づき、似合わせるメイクをしっかりと身に付ける授業を行う。実習の中でブライダル業界で役立つ知識と技術だけではなく、メイクアップアーティストとしてのマナーや心構えに関する授業も行う。お客様に触れさせていただく意識を持ち、手から、ブラシから伝わる「思いやりの気持ち」の大切さを身に付ける。 【実務経験】 15年間主にブライダル業界で花嫁のヘアメイクをする傍ら、ショーモデル・広告などの撮影ヘアメイクや、学校や企業向けにセルフメイク講習を行う。また、JMA検定講師として検定対策にも携わっている。(4年)							
【到達目標】 相モデルでお互いの顔を分析をしたうえで要望や悩みを聞き、的確なアドバイスと寄り添った接客力を身に付ける。和、洋どちらにも対応できるヘアメイクを習得する。相モデルでメイクをイメージ通りに表現できるよう練習し、後半にはドレスとヘアメイクのトータルバランスを考え提案し、創りたい新郎、新婦のイメージを形に出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	ヘアメイク座学①～ヘアメイクに入るその前に～スタンスや、タッチ、道具の使い方を身に付けることが出来る
2回目	ヘア演習①相モデルで(ショートヘア、男子はウィッグで)一束結び、ピンニングの習得。簡単シニヨンスタイルが出来るようになる。
3回目	メイク演習①モデルの骨格を理解しキュートメイクを出来るようになる
4回目	ヘア演習②留袖に合う下目のシニヨンスタイルが出来るようになる。
5回目	メイク演習②列席者に似合うパーティーメイクが出来るようになる。※いつもの道具に加えラメやグリッターを持参していただいて構いません。
6回目	ヘア演習③アイロンでミックス巻きが出来るようになる。
7回目	ヘア演習④アイロンでミックス巻きが出来るようになる。緩いボニーテール→アップスタイルが作れるようになる。
8回目	ヘアメイク座学②色と質感と形について学び理解が出来る
9回目	メイク演習③【ブライダルヘアメイクの資料】選んだ花嫁ドレスに合うヘアメイクが出来るようになる。
10回目	ヘアメイク演習①【ブライダルヘアメイクの資料】撮影ヘア決め、テーマ、ドレス、アングル、小物、撮影アイテム決め
11回目	ヘアメイク演習②カウンセリングシートに基づいて定期試験に向けてヘアメイクの練習する。
12回目	ヘアメイク演習③カウンセリングシートに基づいて定期試験に向けてヘアメイクの練習する。
13回目	★評価週 ヘアメイク(40分)→フィッティング(10分)【前半組】→撮影&プリントアウト
14回目	★評価週 ヘアメイク(40分)→フィッティング(10分)【後半組】→撮影&プリントアウト
15回目	★まとめ・追試/再試 前期振り返り⇒表彰(HM-1グランプリ決定)
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%(実技試験とメイクのカウンセリングシートでも評価。)
受講生への メッセージ	相モデルでの授業です。お友達のことを考え欠席はできるだけ避けて下さい。後期はマスクをした状態での授業となります。前期で身につけたベースメイクを自らの顔に行った状態で臨んでください。自分が身に付けて磨いた技術でお客様が喜んでくださる感動をぜひ体感してもらえると幸いです。 ※持参物は配布物、筆記用具、メイク道具一式、フェイスタオル二枚、コットン、綿棒、メイク落とし(シートでも液状でも可)ティッシュペーパー、マスク、フェイスシールド、雑誌やヘアメイクのコピーが必要な授業もあります。お手持ちのものや学校のものでかまいませんので追加で購入の必要はありません。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルプロジェクト	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	中尾 茉奈
	Bridal Project	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	金曜1・2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 中尾 茉奈:教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 【授業内容】 1年次に学んだ内容を活かした模擬結婚式・披露宴を実施します。							
【到達目標】 1年次に学んだ結婚式・披露宴に関する知識をもとに、模擬結婚式披露宴を実施することができるようになる。 主体的に企画立案や準備に取り組み、チームで一つのものをつくりあげることができるようになる。 SNS等を使用した集客に関する方法を学び、実践に移すことができるようになる。 ※会場の場所によっては内容の変更が発生する可能性があります							

授業計画・内容	
第1回	1年次の振り返り:披露宴の意味を理解し説明できるようになる。
第2回	集客に関する知識①SNSを使用した集客方法を考える
第3回	集客に関する知識②SNS以外の集客方法を考える
第4回	別授業で決定したグループごとに準備を進める①
第5回	別授業で決定したグループごとに準備を進める②
第6回	別授業で決定したグループごとに準備を進める③
第7回	別授業で決定したグループごとに準備を進める④
第8回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第9回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第10回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第11回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第12回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第13回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第14回	模擬披露宴実施日予備日
第15回	プロジェクト全体を通しての振り返りを行い、良かった点と反省点を洗い出し発表する
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率50%、イベント達成度50%(別紙参照)
受講生への メッセージ	他者と関わり合いながらのイベント運営は互いに学ぶことが多いです。全員が主役です。全てを糧にしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	ICT.AIビジネス	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	ICT / AI business	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 一般的なプログラム言語「JavaScript」と「アート」を通じて、プログラミングの概要を学びます。 【実務経験】 講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクス分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。							
【到達目標】							
JavaScriptを通じてオブジェクト指向を学び、簡単な成果物を作成することができる							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒紹介、授業の目的の共有
2回目	ハーローワールドを実行することができる
3回目	関数を使用し、リファレンスを活用することができる
4回目	変数とデータ型を理解し、活用することができる
5回目	フレームを操作し、演算を活用して動的な描画を行うことができる
6回目	関数作成し、活用することができる
7回目	条件文によって、分岐処理を行うことができる
8回目	ループによって、繰り返し処理を行うことができる
9回目	偶発性を活かした線を引くことができる
10回目	偶発性を活かした円を描くことができる
11回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 1
12回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 2
13回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 3
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	プロとして、すぐに活用できるスキルを習得していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ホテル・ウェディング&製菓調理専門学校 2024年度 前期シラバス

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	宇佐美 敏子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】							
【実務経験】 保険会社の法人営業部に営業職として4年勤務(内育成トレーナー2年)／ホテルにプランナーとして1年勤務／結婚式場立ち上げの為プランナーとして2年勤務 BLD WEDDINGS株式会社にプランナーとして8年勤務(在職中はマネージャーとして育成、人事、採用などにも携わる) 現在は講師業、結婚式場にてサービスマネージャーとしてブライダル業界に携わる 業界経験18年							
【到達目標】 ・学生と社会人の違いを理解することができる ・社会人基礎力を身に付け、将来のキャリアを見据えて自分の強みを活かした進路選択ができるようになる ・社会人になる前の準備を身につける事ができる							

授業計画・内容	
第1回	就職活動状況の確認(状況に応じて今後の活動を指導または内定者との対談)
第2回	社員とアルバイトとの違いについて理解することができる
第3回	新入社員に求められるビジネスマナーについて学ぶことができる
第4回	新入社員に求められる社内でのビジネスマナーについて学ぶことができる
第5回	就職状況進捗確認
第6回	TO DOリストを理解し作成する事ができる
第7回	テスト対策
第8回	中間テスト
第9回	職場での人間関係構築について学ぶことができる①
第10回	職場での人間関係構築について学ぶことができる②
第11回	グループディスカッション①:テーマ／社会人になるためにどんなことをやっておいた方がいいのか
第12回	グループディスカッション②:チームごとで①のプレゼン
第13回	テスト対策
第14回	★評価週
第15回	期末テスト:筆記試験
第15回	テスト振り返り／卒業までの過ごし方について考えることができる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	・中間テスト・期末テスト100%
受講生への メッセージ	就職内定が出ている人は社会人になるための準備を！！ まだ内定が出ていない人は就活ラストスパートです！！ 後悔のないようみんなで頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
【実務経験】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官							
【到達目標】 過去問題を解き出題をテキストから探し出すことが出来る 〈具体的な目標〉 目標①課題の抽出と克服が出来る 目標②類似問題の見極めが出来る 目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る							

授業計画・内容	
1回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
2回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
3回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
4回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
5回目	中間試験対策
6回目	中間試験・筆記
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
8回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
13回目	期末試験対策
14回目	★評価週
15回目	
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
	Restaurant service skill test	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。 【実務経験】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官							
【到達目標】 全員、夏休み前には各年代の過去問90点以上 〈具体的な目標〉 目標①課題の抽出と克服が出来る 目標②類似問題の見極めが出来る 目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る							

授業計画・内容	
1回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
2回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
3回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
4回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
5回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
6回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
8回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。
13回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。
14回目	★評価週
15回目	
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	ブライダル演習	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Bridal exercise	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
接客シュミレーションを中心に行い、一連の流れを理解し衣裳の専門的な知識を身につける							
【実務経験】 TAKAMI BRIDALにて約8年半の実務経験有。社内資格として、チーフ・インストラクターの資格有。後輩指導やチーフ試験官などを経験。							
【到達目標】							
実践に近づいたコーディネイトや接客・提案ができるようになる							

授業計画・内容	
1回目	スタイリストの業務内容の復習とブライダル業界におけるスタイリストの立ち位置について学ぶ
2回目	ドレスの勧め方についてお客様のご要望や会場に合ったドレスをご提案できるようになる
3回目	実践でドレスのサイズ感について(妊婦様など)学ぶ
4回目	タキシードのすすめ方について、お客様のご要望やドレスに合ったタキシードをご提案できるようになる(ロープレ)
5回目	和装の試着方法と接客の流れを学ぶ(ロープレ)
6回目	前回の復習を兼ねてお客様のご要望に沿ったご提案や柄の説明ができるようになる
7回目	中間テスト
8回目	中間テストの答案返却とその解説
9回目	コラージュ作成 衣裳と会場のテーマをそれぞれ決めてコラージュを作成する
10回目	先週のコラージュ作成を元に一人ずつ発表(プレゼン)する 会場・衣裳の提案ができるようになる
11回目	【衣裳店研修】 TAKAMI BRIDALの店舗にて衣裳店の雰囲気や商品を見て学ぶ
12回目	お客様のお出迎えからカウンセリング・衣裳提案までの流れをできるようになる(ロープレ)
13回目	次週の試験の試験範囲の説明と実技試験の練習を行います
14回目	★評価週 筆記試験と実技試験の予定
15回目	★まとめ・追試/再試 先週の答案用紙返却と解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	●中間試験・期末試験(筆記・実技)
受講生への メッセージ	スタイリストとして大切な知識をたくさんつめこんだ授業内容です。素敵な未来に向かって一緒に頑張っていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します。	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career Program	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	中尾 茉奈
学科・コース		授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
保育者養成校にて『子育て心理学』『発達心理学』『表現指導法』などの授業を担当。また、東京学芸大学の高尾隆准教授(現在は東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)に師事、“Improvisation”の手法を学び、それを基にしたコミュニケーション技法に関するワークショップやセミナーを実施。							
【到達目標】 実践やワークを通して、接客業に必要なコミュニケーションスキルを身に着けることができる。 個人的な感情に左右されず、相手のことを考えた言動ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	導入や授業の内容説明を通して、授業の目的と到達目標について知ることができるようになる。
2回目	ブレインストーミングやKJ法について知り、実践することで考え方の多様性について知ることができる。
3回目	他己紹介:ホットシーティングの手法を活用して得た情報をもとに、他者を紹介できるようになる。
4回目	「聞き上手」ゲーム インプロの考え方の一つであるステータスを考えた態度の取り方を知ることができるようになる。
5回目	インプロゲーム「Yes、and」「What is next?」を通して、コミュニケーションにおける「聞くこと」について考えることができる。
6回目	「話し上手」ゲーム インプロの考え方の一つであるステータスを考えた態度の取り方を知ることができるようになる。
7回目	インプロゲーム 「リア・ハンド・ホップラ」「ジブリッシュ」「私は木です」「さしすせそ禁止ゲーム」を通して、身体を使ったコミュニケーションについて知る
8回目	「読み上手」について 実際に指定された文章を読み書きすることを通して知ることができる。
9回目	インプロゲーム「最初と最後」を通して、自ら考える力をつけることができるようになる。
10回目	「書き上手」について 実際に指定された文章を読み書きすることを通して知ることができる。
11回目	「ブラインドワーク」を行い、目で見たこと以外を言葉に書き起こすことを通して印象に残る描写の方法を知ることができる。
12回目	自己理解を深める 自分史年表の作成
13回目	ベアトレーニング 互いを褒め合うことを通して、他者を知る手段を見つける
14回目	何年後かの「自分」へ
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	空間コーディネート演習 Spatial coordination	必修 選択	必修 選択	年次	2・3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期・後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
10年以上数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディング・レストランウェディングを多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師が担当。昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえつつ、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだ空間コーディネートのフラワートrend講義を行う。							
【到達目標】 ①目的やシチュエーションによって、空間コーディネートがどの様に人の心理に影響を与えるのかを知ることができる。②SNSやパンフレットを基に様々なホテルや飛行機内の空間コーディネートを比較して見ることができる。(校外実習も含む)③実際に自身で空間コーディネートをを行い、PPT作成をもってプレゼンすることができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介／授業内容について	
2回目	空間コーディネートとは何か理解することができる。	
3回目	VMDについて理解することができる。	
4回目	ディスプレイに用いる什器の効果的な組み合わせを理解し、実践に生かすことができるようになる。	
5回目	色彩がもたらす心理効果について学び身につけることが出来る	
6回目	グループワーク／空間に用いる色合わせでクライアントのニーズに応えるワークを行い理解できる	
7回目	前回のグループワークで提案した内容・意図を発表できる	
8回目	フィールドワーク準備／ホテルの空間コーディネートトレンドを意識した考察ポイントを整理し、次週に備える。	
9回目	校外実習(ホテル見学・日程調整中) 見学後考察をレポートにまとめることができる	
10回目	フィールドワークで考察した内容・感想をプレゼンテーション出来る	
11回目	ファッション視点からエアラインやホテルの制服に関して、最新のトレンドを知ることができる	
12回目	シーズナル装花／サマーアレンジメント制作ができるようになる。(¥ 2,000)	
13回目	期末試験	
14回目	★評価週	自身の考えた空間コーディネートの提案プレゼンテーション
15回目	復習	プレゼンテーションができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末70％／プレゼンテーション30％	
受講生へのメッセージ	最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び理解を深めることで、実践に活かすことができる空間コーディネート力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 サービスを全ての職種、キャリアで自身の価値提供の最大化ができるマインドテクニックを身に付ける							

授業計画・内容	
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②
10回目	自分キャリアプランを作成する①
11回目	自分キャリアプランを作成する②
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	無し
評価方法	レポート提出100%
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	

科目名 (英)	ブライダルマネジメント	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	田中 香利
	Bridal system	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科ブライダルプランナーコース					曜日・時限	火曜2限・3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】 数字を使いこなす：頭のイメージを言語化→数値化→具体化→伝達化 できる							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション 社会における数字の世界概要
第2回	目標達成を数値化する方法1：目標設定：頭の中のイメージを数字で表現するスキルを身につけることができる
第3回	目標達成を数値化する方法2：アンカリング効果：顧客が反応するポイントを把握するスキルを身につけることができる
第4回	目標達成を数値化する方法3：サムシングニューの数字設定：マインドスキルアップに伴い効果的なセールストークスキルを身につけることができる
第5回	言語化のポイントは数字で表現する1：思考のものさし：頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第6回	言語化のポイントは数字で表現する2：理解語彙と使用語彙：頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第7回	言語化のポイントは数字で表現する3：具体化：頭の中のイメージの言語を数字で具体化するスキルを身につけることができる
第8回	言語化のポイントは数字で表現する4：プロフィールを数字で作成：セールス時の説得力を身につけることができる
第9回	言語化のポイントは数字で表現する5：アウトプット：具体化された数字をストーリーに：伝達力を見につけることができる
第10回	言語化のポイントは数字で表現する6：アウトプット：具体化された数字をストーリーに：伝達力を見につけることができる
第11回	数字を引用したセールストーク1：或る会社の商品(ブライダル業界)の商品のセールストークを作成：夢と想いを数値化したトークスキルを身につけることができる
第12回	数字を引用したセールストーク2：或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成：夢と想いを数値化したトークスキルを身につけることができる
第13回	数字を引用したセールストーク3：或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成：夢と想いを数値化したトークスキルを身につけることができる
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト 振り返り 復習 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	PCを使用
受講生への メッセージ	残り少ない学生期間で、数字の深掘りをし、アウトプットし伝達する力を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・USB持参	

科目名 (英)	ブライダルマネジメント	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	田中 香利
	Bridal marketing	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	月曜3限・4限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
※実務経験 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】 ブライダル業界及びサービス業における、売り上げ・原価・利益を把握し、様々な業種のの数字の成り立ちを理解することが出来る							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション ブライダル業務の数字の概要
第2回	ブライダル業界の料金表を作成し、商品ごとの単価を理解することができる
第3回	ブライダル業界の商品売価・原価・利益を作成し、商品ごとの利益率を理解することができる
第4回	テーマを決定し、プラン見積表を作成する。テーマごとの売価・原価・利益率の違いを理解することができる 1
第5回	テーマを決定し、プラン見積表を作成する。テーマごとの売価・原価・利益率の違いを理解することができる 2
第6回	テーマウェディングのPOP作成。集客に必要な要素を理解し、応用することができる。
第7回	サービス業界の例：課題設定：料金表作成 他業種の数字を把握することにより、原価や利益の違いを理解することができる 1
第8回	サービス業界の例：課題設定：料金表作成 他業種の数字を把握することにより、原価や利益の違いを理解することができる 2
第9回	集客POPと販売POPの作成 数字を画像で表現するスキルを身につけることができる 1
第10回	集客POPと販売POPの作成 数字を画像で表現するスキルを身につけることができる 2
第11回	数字の福袋作成：様々な商品を組み合わせ、販売価格の設定と原価・利益を検証・分析 販売力の強い商品のアピールポイントを把握することができる
第12回	数字のモデルルーム作成：夢を憧れを数値化する 販売価格の設定と原価・利益を検証・分析 販売力の強い商品のアピールポイントを把握することができる
第13回	販売用POP作成 プレゼンテーションスキルを身につけることができる
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト 振り返り 復習 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	PCを使用
受講生への メッセージ	数字に対してのアレルギーを払拭し、数字に強くなりましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・USB持参	

科目名 (英)	バー演習 Bar exercises	必修 選択	選択必修	年次	2・3	担当教員	増田 鉄平
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期・後期 水曜日4時限
【実務経験】 大学在学中にインターンシップにてホテルバーの世界へ。その後ホテルバーにて研鑽を積みバーテンダー業界では25年余りとなる中、現在も老舗バーにて九州代表としてカテルコンペティションへ出場し数々入賞する。 【授業の学習内容】 ウイスキー・スピリッツ・リキュールやその他日本酒・焼酎などの國酒のお酒を幅広く世界各国知識として学ぶこと、サービスの在り方やカクテル作成などを実習を通して学んでいく。 【到達目標】 バーでの作法や総合飲料取扱者として、提供の仕方や接客方法を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門学校での過ごし方、授業内容の把握と目標設定。
2回目	【座学】BAR・カクテルについて 【実技】バーテンダーの姿勢、お酒やボトルの扱い方、副材料、氷、グラス、バーツール 等
3回目	【座学】お酒の基礎知識① 【実技】ステア&ビルド 課題 ハイボール、水割り、お湯割 ノンアルコールロングカクテルを作る
4回目	【座学】お酒の基礎知識② 【実技】シェイク 課題 ノンアルコールショートカクテルを作る
5回目	【座学】BAR接客について 【実技】接客(来店時、会話、オーダー、メイク、提供、お会計、退店時)& 課題カクテルを作る
6回目	中間テスト対策: バーテンダーとお客さまのグループに分かれて実際BARサービスを想定しトレーニング
7回目	中間テスト:実技 課題カクテル1杯 (ノンアルコールフィズ) ※接客あり&筆記あり
8回目	中間テストの課題を克服
9回目	【座学】ニューウェーブカクテルについて(海外のBAR・ミクソロジー・モクテル) 【実技】スローイング
10回目	【座学】モクテルの作り方① 【実技】創作モクテルロング
11回目	【座学】モクテルの作り方② 【実技】創作モクテルショート
12回目	【座学】原価計算の考え方を学ぶことができる 【実技】オリジナルカクテルメニュー制作
13回目	期末試験対策(接客とゲストに分かれて実際のバーサービスを想定)
14回目	★期末試験 評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業に対しての教材以外でも出来ることならばどんどんやってみましょう。
評価方法	●期末テスト:オリジナル創作 モクテル1種(ロング・ショート) 課題 1杯(ロング・ショート) 計2杯(予定) ● 授業態度・身だしなみ 等
受講生への メッセージ	・飲食業以外でも分からないことなどあれば、気軽に質問してください。少しでも皆様のプラスになるようにして、充実し時間が過ぎていければと考えております。
【使用教科書・教材・参考書】 HBA/バーテンダーズマニュアル	

科目名 (英)	日本の伝統と文化	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	馬渡 泰子
	Japanese Tradition and Culture	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜2限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 ドレススタイリスト&ビューティーコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】衣装店やブライダルヘアメイク業界に出て即戦力となるよう、お客様の大切なお着物の扱い方、接客において着物に関する知識を身に付けることが出来る。							
【実務経験】ホテル勤務11年中、7年の営業部婚礼課所属。新規セールス1年、ウエディングプランナーとして6年で約480組の婚礼のプランニング。 専門学校5年勤務にて、ブライダルコースの座学(ブライダルコーディネート技能検定3級対策)、実技を担当。 2021年より長沼静着物学院にて着付けを学び2023年10月着付師1級合格。2024年1月の成人式にて着付師デビュー。 現在は毎週末、ザ・ストリングス博多(旧ハカタギグランヒューリ)の挙式アテンダーをしている。							
【到達目標】							
日本の伝統文化について教養を身につけるとともに、着物の扱い方や、自装と他装の基礎を身に着ける。							

授業計画・内容		
1回目	〈座学〉着物について/貸衣装スタッフ、着付師について	
2回目	〈座学〉着物の歴史	
3回目	〈座学〉着物の種類	
4回目	〈座学〉着物の名称　〈実技〉たたみ方を学ぶ	
5回目	〈座学〉帯の種類　〈実技〉たたみ方を実践	
6回目	〈座学〉着物に合わせる小物　〈実技〉長襦袢を着る	
7回目	〈座学〉着物の格式　〈実技〉長襦袢を着せる	
8回目	〈座学〉TPOと季節　〈実技〉浴衣の自装	
9回目	〈座学〉紋と模様について　〈実技〉浴衣の自装	
10回目	〈座学〉染めと織り・着物の産地　〈実技〉浴衣の他装	
11回目	〈座学〉着物のマナー・着崩れの対処　〈実技〉浴衣の他装	
12回目	自装実技チェック	
13回目	他装実技チェック	
14回目	★評価週	【定期試験】筆記(座学の内容から出題)
15回目	まとめ	まとめと振り返り
準備学習 時間外学習	・配布プリントとノートを持参すること ・各自復習をしておくこと	
評価方法	自装・他装実技チェック(20点)、筆記試験(80点)　合計100点満点で評価	
受講生へのメッセージ	着物を通して日本の伝統文化を学びましょう。着物の種類や模様等様々に込められている日本人の精神文化を知り、お客様へ着物をおすすめる際や、着付けをする際にも先人たちから受け継いだ想いをお伝えできるプロのスタッフになってください。 訪日外国人もこれからますます増えてきます。グローバルに活躍される方は特に、自国の文化を発信できるよう学びましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
きもの教本Ⅰ(長沼静きもの学院)参考		

科目名 (英)	和装知識 Kimono knowledge	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	馬渡 泰子
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜3限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 ドレススタイリスト&ビューティーコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】衣装店やブライダルヘアメイク業界に出て即戦力となるよう、お客様の大切なお着物の扱い方、接客において着物に関する知識を身に付けることが出来る。							
【実務経験】ホテル勤務11年中、7年の営業部婚礼課所属。新規セールス1年、ウエディングプランナーとして6年で約480組の婚礼のプランニング。 専門学校5年勤務にて、ブライダルコースの座学(ブライダルコーディネート技能検定3級対策)、実技を担当。 2021年より長沼静着物学院にて着付けを学び2023年10月着付師1級合格。2024年1月の成人式にて着付師デビュー。 現在は毎週末、ザ・ストリングス博多(旧ハカタギグランヒューリ)の挙式アテンダーをしている。							
【到達目標】 日本の伝統文化について教養を身につけるとともに、着物の扱い方や、自装と他装の基礎を身に着ける。							

授業計画・内容		
1回目	〈座学〉着物について/貸衣装スタッフ、着付師について	
2回目	〈座学〉着物の歴史	
3回目	〈座学〉着物の種類	
4回目	〈座学〉着物の名称　〈実技〉たたみ方を学ぶ	
5回目	〈座学〉帯の種類　〈実技〉たたみ方を実践	
6回目	〈座学〉着物に合わせる小物　〈実技〉長襦袢を着る	
7回目	〈座学〉着物の格式　〈実技〉長襦袢を着せる	
8回目	〈座学〉TPOと季節　〈実技〉浴衣の自装	
9回目	〈座学〉紋と模様について　〈実技〉浴衣の自装	
10回目	〈座学〉染めと織り・着物の産地　〈実技〉浴衣の他装	
11回目	〈座学〉着物のマナー・着崩れの対処　〈実技〉浴衣の他装	
12回目	自装実技チェック	
13回目	他装実技チェック	
14回目	★評価週	【定期試験】筆記(座学の内容から出題)
15回目	まとめ	まとめと振り返り
準備学習 時間外学習	・配布プリントとノートを持参すること ・各自復習をしておくこと	
評価方法	自装・他装実技チェック(20点)、筆記試験(80点)　合計100点満点で評価	
受講生へのメッセージ	着物を通して日本の伝統文化を学びましょう。着物の種類や模様等様々に込められている日本人の精神文化を知り、お客様へ着物をおすすめる際や、着付けをする際にも先人たちから受け継いだ想いをお伝えできるプロのスタッフになってください。 訪日外国人もこれからますます増えてきます。グローバルに活躍される方は特に、自国の文化を発信できるよう学びましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
きもの教本Ⅰ(長沼静きもの学院)参考		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	選択必修	年次	2・3	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日4時限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターの国家試験を合格するための対策授業を行います。 ※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
【到達目標】 2025年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる （2025年1月第4水曜日予定）							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション 授業内容の説明、評価方法の説明、教本の説明が理解できる
第2回	ブライダルコーディネイトとは 第1章 結婚の定義が理解できる(P1～P11)
第3回	第2章 日本の結婚式と歴史と文化の定義が理解できる(P12～P17)
第4回	結婚に関する風習・いわれ 第3章 欧米の結婚式、歴史と文化(P17～P26)
第5回	3.欧米の結婚式 ①イギリス②フランス③イタリア④アメリカ の理解ができる(P26～P32)
第6回	第1章 ブライダルビジネス 第2章 ブライダル市場 第3章 ブライダル業種が理解できる(P34～P39)
第7回	第4章 ブライダル関連業種 中間テスト告知が理解できる(P40～P44)
第8回	中間テスト実施、解答が理解することができる
第9回	第5章 ブライダルのエリア特性 第6章ブライダル業界の1年と集客システム 第1章 見合いと婚約(P45～P57)
第10回	第2章 結納、婚約式が理解できる(P58～P68)
第11回	業界学習
第12回	第5章 神前式 第6章 仏前式 第7章 人前式の理解ができる(P76～P83)
第13回	神前式・仏前式・人前式・キリスト教式のテスト、その後の解説を学び身に付けることができる
第14回	期末テスト(コーディネイト検定の告知)
第15回	期末テスト、解答と前期の振り返り
準備学習 時間外学習	6/20は結納品の授業で2教室使用したいので空き教室があればお知らせください
評価方法	中間テスト 50% 期末テスト 50%
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。これからの2年間のブライダルCD検定初年度でしっかり基礎を学び合格に結びつけてください
【使用教科書・教材・参考書】 BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	